

基本方針 2 公私の切磋琢磨により高校の教育力を向上させます (1) 公私が力を合わせて高校の教育力向上をすすめます

【基本的方向】

- ① 就学セーフティネットの観点から、意欲あるすべての子どもが高校教育を受けることができるよう、公私あわせて高校への就学機会を確保します。
- ② 公私ともに学校情報についての公表・公開をすすめ、生徒が十分な情報のもとで自らの入りたい学校を主体的に選択できる環境づくりをすすめます。
- ③ グローバル社会で活躍できる人材や、厳しい雇用環境の中にあって社会で活躍できる人材を育成するため、公私が切磋琢磨しつつ共同での取組みをすすめます。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名 (事業名)	実施内容
①	高校の授業料無償化等 (公立高等学校授業料無償化の実施) <参考資料 P 156> (私立高等学校等生徒授業料支援補助金) <参考資料 P 156> (公立高校生等奨学給付金事業) <参考資料 P 156> (私立高校生等奨学給付金事業) <参考資料 P 156>	公立高等学校については授業料不徴収制度及び就学支援金制度を実施するとともに、私立高校等については授業料無償化制度を実施した。 平成 26 年度以降入学の 1、2、3 年生を対象に、市町村民税所得割額が非課税である世帯に対して、授業料以外の教育費の負担軽減を目的として、奨学のための給付金を支給した。
	奨学金制度の運営・運用 (公益財団法人大阪府育英会における奨学金事業) <参考資料 P 157>	(公財) 大阪府育英会における奨学金事業について、中学生や教職員に対して制度を周知するとともに、給付型奨学金の事業資金の確保のため寄附金を募集した。
②	府立高校における広報活動の充実 (広報強化推進事業) <参考資料 P 158>	各府立高校において、学校説明会を実施するとともに、府教育委員会では、大阪府内全ての公立高校を集めた進学フェアを開催した。
	府立高校における広報活動の充実 (「公立高校ガイド」の作成) <参考資料 P 158> (高校入試情報提供事業) <参考資料 P 158>	府内全公立高校の情報を掲載した「公立高校ガイド」を府内の全公立中学 3 年生に配付するとともに、学校情報を Web で検索できる「大阪府公立高等学校・支援学校検索ナビ (咲くなび)」を運用した。
	私立高校における学校情報の公表・公開 <参考資料 P 158>	情報を公表していない学校については、経常費補助金を減額して配分した。

基本的方向	具体的取組名 (事業名)	実施内容
③	英語コミュニケーション能力の育成 (骨太の英語力養成事業)  <参考資料 P159～P160> (英語教育推進事業)  <参考資料 P159～P160>	高校3年間で、英語4技能(聞く・話す・読む・書く)を、英語圏の大学で修学できるレベルに引き上げるため、対象の府立高校17校すべてにおいて、SET(スーパーイングリッシュティーチャー)による TOEFLiBT を扱った授業を行った。 また、英語力の底上げのため、在籍校によらないオール大阪の視点で、意欲ある生徒に対する「聞く・話す」能力の鍛錬を行うとともに、英語科教員の指導力を高めるプログラムを実施した。
	キャリア教育の充実 (キャリア教育支援体制整備事業)  <参考資料 P161～P162>	就職希望者が多い学校(平成28年度府立32校、私立5校)を支援するため、就職内定率向上に実績のある「就職支援コーディネーター」等を配置し、生徒一人ひとりの状況を踏まえたキャリア教育を実践した。
	公私間の教員の人事交流や合同研究会、 相互授業見学の実施  [新規] <参考資料 P162>	公私間の人事交流の実施に向けて公私で協議を行い、2名交流した。 府内公立高等学校及び支援学校高等部の進路指導担当者を対象とした、就職差別の未然防止及び早期対応のための合同説明会を開催した。 また、教育センターでの研修を私学へ開放したり、支援教育などに関するフォーラムに私学の教職員が参加した。公私双方の授業見学を公立・私立4校で公開した。

【指標の点検結果】

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績 (計画策定時)	H28 年度実績	点検結果	
○指標 7 昼間の高校への進学率	計画進学率をめざす (93.9%)	93.1% (H25 年度選抜)	93.9% (H29 年度選抜) [H27 年度実績 93.6% (H28 年度選抜)]	○	平成 28 年度実績は、計画策定時の実績を 0.8 ポイント上回った。
○指標 8 学校情報の公表状況	いずれについても 100%をめざす	府立高校 財務情報 100% 学校教育自己診断 83.8% 学校協議会 87.0%	府立高校 財務情報 100% (注 1) 学校教育自己診断 100% 学校協議会 100% (H27 年度実績 学校教育自己診断 100% 学校協議会 100%)	◎	平成 28 年度実績は、いずれも目標値 (100%) を達成した。
	いずれについても 100%をめざす	私立高校 財務情報 78.1% 自己評価 74.0% 学校関係者評価 49.0%	H27 年度実績 私立高校 財務情報 83.3% 自己評価 78.1% 学校関係者評価 78.1% (H26 年度実績 私立高校 財務情報 82.3% 自己評価 62.5% 学校関係者評価 75.0%) ※H28 年度実績は H30 年 3 月下旬に公表予定	△ (注 2)	平成 27 年度実績は、財務情報、自己評価及び学校関係者評価について、計画策定時の実績をそれぞれ 5.2 ポイント、4.1 ポイント、29.1 ポイント上回った。

(注 1) 財務情報については、平成 27 年度実績を記載 (平成 28 年度実績は、平成 30 年 1 月末に公表予定)。

(注 2) 目標に対する平成 27 年度実績の進捗状況を記載。

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績 (計画策定時)	H28 年度実績	点検結果
○指標 9 府立高校 3 年生のうち英検 準 2 級相当以上の割合	30%をめざす	25.8%	36.2% [H27 年度実績 31.3%]	◎ 平成 28 年度実績は、計画策定時の 実績より 10.4 ポイント上回った。
○指標 10 ・府立高校の英語教員のう ち、英検準 1 級、TOEFL550 点、TOEIC730 点以上を保有 する割合	60%をめざす	42.5%	61.1% [H27 年度実績 48.0%]	◎ 平成 28 年度実績は、計画策定時の 実績を 18.6 ポイント上回った。
・府立高校の英語教員のう ち、英検 1 級、TOEFL iBT80 点、TOEIC 1,190 点(SW 含む)、 IELTS 6.5 以上を保有する割 合 (注)	20%をめざす	14.0% [H26 年度実績]	17.1% [H27 年度実績 16.4%]	△ 平成 28 年度実績は、H27 年度実績 を 0.7 ポイント上回った。
○指標 11 公立・私立高校卒業者の就職 率(就職者の就職希望者に対 する割合)	全国水準をめざす	93.3% (全国 : 95.8%)	95.1% (全国 : 98.0%) 〔H27 年度実績 94.5% (全国 : 97.7%)〕	△ 平成 28 年度実績は、計画策定時の 実績を 1.8 ポイント、昨年度実績 を 0.6 ポイント上回り、全国平均 との差は 3.2 ポイントから 2.9 ポ イントに縮小した。
・府立高校卒業者の就職率 (就職者の就職希望者に 対する割合) 【基本方針 2 (2) 指標 13 の再掲】	全国水準をめざす	93.2% (全国 : 95.8%)	95.1% (全国 : 98.0%) 〔H27 年度実績 94.0% (全国 : 97.7%)〕	△ 平成 28 年度実績は、計画策定時の 実績を 1.9 ポイント、昨年度実績 を 1.1 ポイント上回り、全国平均 との差は 3.7 ポイントから 2.9 ポ イントに縮小した。
・私立高校卒業者の就職率 (就職者の就職希望者に 対する割合) 【基本方針 2 (3) 指標 20 の再掲】	全国水準をめざす	92.1% (全国 : 93.9%)	92.4% (全国 : 97.7%) 〔H27 年度実績 93.6% (全国 : 97.5%)〕	△ 平成 28 年度実績は、計画策定時の 実績を 0.3 ポイント上回ったが、 昨年度実績を 1.2 ポイント下回り、 全国平均との差は 1.8 ポイントか ら 5.3 ポイントに拡大した。

(注) 平成 26 年度より、英語力の底上げのため、短期集中研修など英語科教員の指導力を高める事業を実施していることから、教員の英語力を測る指標を新たに設けた。

【自己評価】

- ① 就学セーフティネットの観点から、意欲あるすべての子どもが高校教育を受けることができるよう、公私あわせて高校への就学機会を確保します。
 - ・高校の授業料無償化や奨学金制度により、公私を問わず自由に学校選択できる機会を保障し、昼間の高校への進学率が計画策定時に比べて上昇するとともに、私立高校へ進学する割合も無償化制度導入前と比べて増加した。

- ② 公私ともに学校情報についての公表・公開をすすめ、生徒が十分な情報のもとで自らの入りたい学校を主体的に選択できる環境づくりをすすめます。
 - ・府立高校については、「大阪府公立高等学校・支援学校検索ナビ（咲くなび）」の運用など広報活動に取り組んだ。学校教育自己診断及び学校協議会について公表した府立高校の割合は、目標値の 100%を維持した。
 - ・私立高校については、情報未公表の場合は、私立高校に対する経常費補助金の配分において減額要素としている。各私立高校での情報の公表は進んでいるが、依然、目標には達していないため、個別にヒアリング調査を行うなどして、引き続き情報の公表に努めるよう働きかけていく。

- ③ グローバル社会で活躍できる人材や、厳しい雇用環境の中にあって社会で活躍できる人材を育成するため、公私が切磋琢磨しつつ共同での取り組みをすすめます。
 - ・英語教育については、英語の技能を伸ばしたいという意欲ある生徒が、公私の様々な学校から参加できる特訓クラスや、「オールイングリッシュ」で行う授業のノウハウを学ぶ教員向けの短期集中教員研修を実施した。府立高校 3 年生のうち、英検準 2 級相当以上の割合は、平成 27 年度時点で目標値の 30%を達成し、今年度はさらに 4.9%増の 36.2%となった。また、英検準 1 級、TOEFL550 点、TOEIC730 点以上を保有する府立高校の英語教員の割合は、目標の 60%を達成した。しかし、英検 1 級、TOEFL iBT80 点以上、TOEIC1,190 点以上、IELTS6.5 以上を保有する府立高校の英語教員の割合は、目標 20%に対し 17.1%と下回っており、目標に達していない。引き続き、教員対象の研修を充実させるなど、生徒の英語力のさらなる向上のために必要な英語科教員の英語力の向上に努めていく。
 - 加えて、指標にはないが、SET による TOEFL iBT を扱った授業については、10.9%の生徒が海外留学（学部レベル）に求められる 61 点以上を取得した。（参考：平成 27 年度 4.8%）

- キャリア教育については、公立・私立高校卒業者の就職率が、全国平均に比べると依然低位にあり目標に達していない。平成 26 年度から取り組んでいる「キャリア教育支援体制整備事業」においては、就職支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカーを配置した対象校で就職希望者が増加するとともに、平成 28 年度の就職内定率が平成 27 年度と比較して 1.9 ポイント上昇し、進路未定者においても3年連続で減少した。これは、キャリア教育の取組みにより、生徒の就労意欲を高めることで就職希望者がより明確な職業イメージを持ち、粘り強く最後まで取り組んだ結果によるものである。「キャリア教育支援体制整備事業」は平成 28 年度で終了したが、今後は、この事業により構築した校内体制及び就職支援に関する情報・経験を有効活用していく。
- 公私共同の取組みについては、府教育委員会事業について私立学校に情報提供を行うとともに、私学団体における研修会に講師を派遣するなど、私学団体における研修事業を支援した。また、公私間の人事交流の継続実施に向けて公私で協議を行うとともに、進路指導の担当者を対象とした就職差別の未然防止及び早期対応のための説明会を開催し、教員の資質向上に寄与した。今後も、情報提供や人事交流等を通じて、私立学校の教員の資質向上に寄与していく。

【評価審議会における審議結果】

○府の点検及び評価結果は概ね妥当である。

【基本的方向②について】

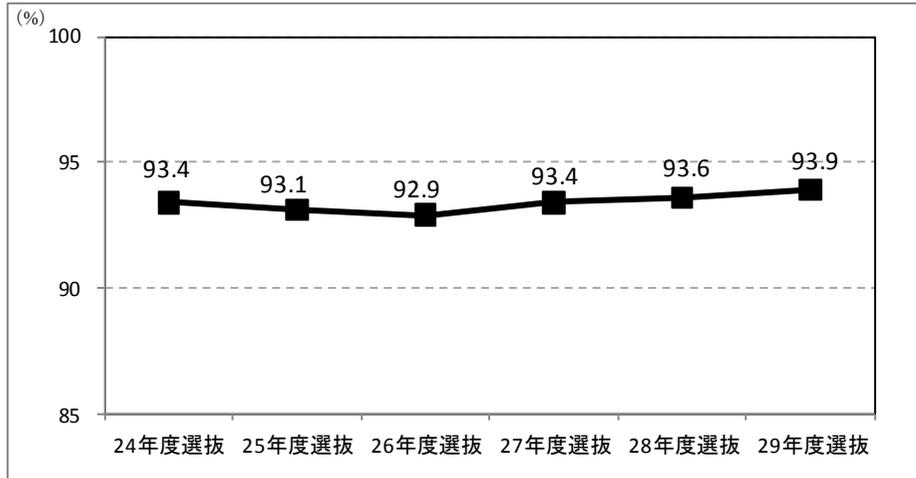
- ・「学校情報の公表（指標 8）」について、府立高校の公表状況が 100%を継続しているのは、努力の成果である。一方、私立高校の公表状況については、依然として伸びていない状況であるので、指導だけでなく、府立高校の公表による効果等の現実的でポジティブな情報を提供するなどの方法により、私立学校の学校情報の公表を促進する必要がある。

【基本的方向③について】

- ・「府立高校の英語教員のうち英検準1級、TOEFL 550点、TOEIC730点以上を保有する割合（指標10）」について、グローバル化に備えて、大学入試の4技能検査への移行に向けて準備を進めていく必要があり、TOEFL iBT100点や英検 1 級（CEFR C1）の教員の育成が全国の高等学校の課題になると思う。新学習指導要領になった時には、既に準備できているよう、英語教員の英語力を向上していただきたい。

(参考)

◆指標 7 昼間の高校への進学率

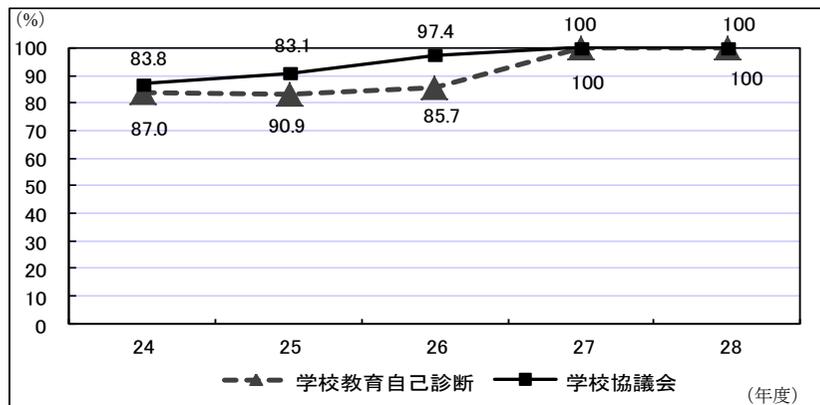


※府教育庁調べ

※29年度選抜…H28年度に実施したH29年度入学者の選抜

◆指標 8 学校情報の公表状況

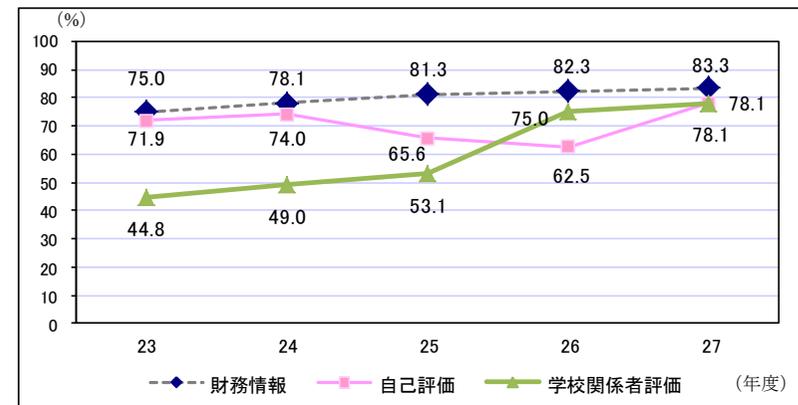
府立高校における学校情報の公表状況



※府教育庁調べ

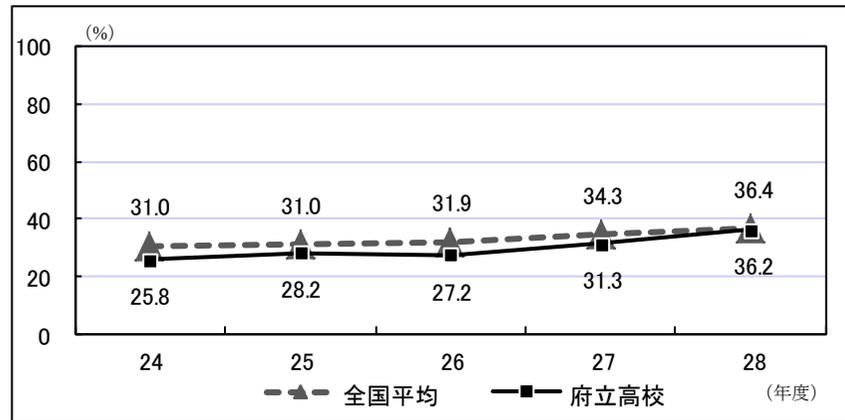
※財務情報は、平成20年度以降100%のため記載せず。

私立高校における学校情報の公表状況



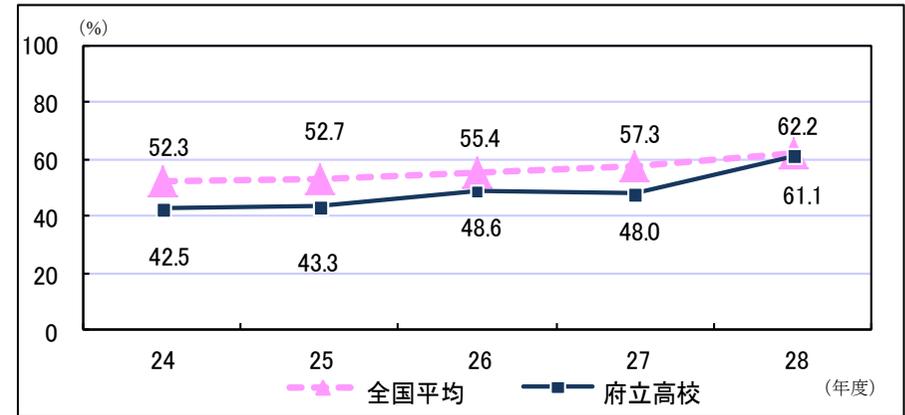
※府教育庁調べ

◆指標9 府立高校3年生のうち英検準2級相当以上の割合



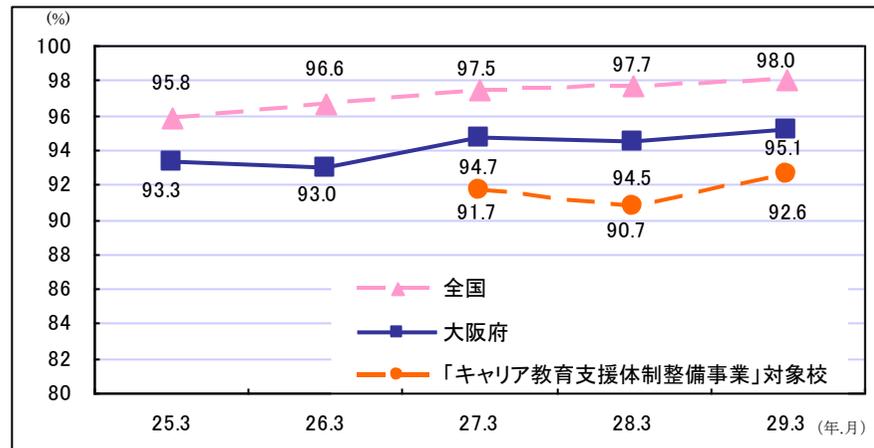
※府教育庁調べ

◆指標10 府立高校の英語教員のうち、英検準1級、TOEFLiBT550点、TOEIC730点以上を保有する割合



※府教育庁調べ

◆指標11 公立・私立高校卒業者の就職率
(就職者の就職希望者に対する割合)



※府教育庁調べ及び文部科学省「高等学校卒業者の就職状況調査」

※「キャリア教育支援体制整備事業」

対象校 37校 (府立高校 32校、私立高校 5校 ※H28年度)